



つみたてNISA 適格

Tracers グローバル3分法 (おとなのバランス)

当ファンド設定の背景や運用のポイントなどについてご紹介

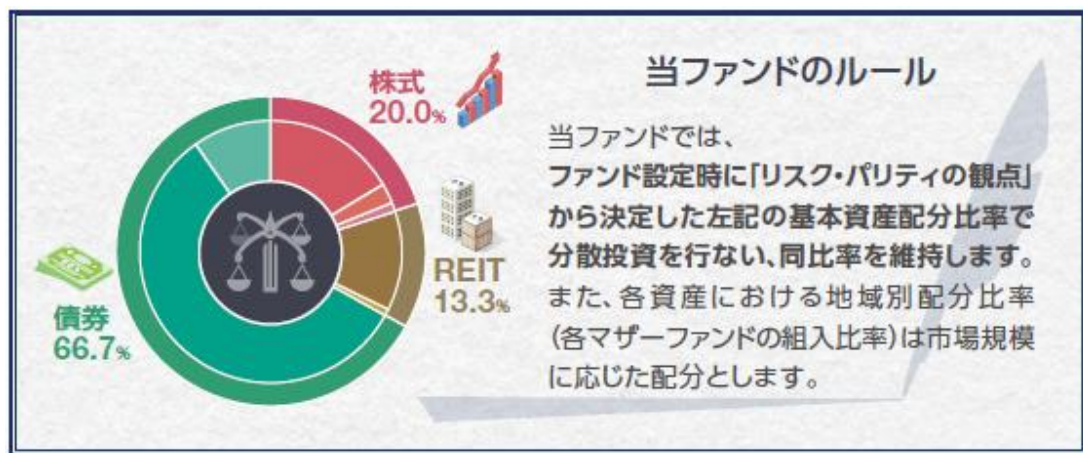
ネット専用ノーロード・ファンドシリーズ「Tracers（トレイサーズ）」の4本目、また、Tracers シリーズでは初となる**つみたてNISAの対象商品**として2023年2月10日に設定された当ファンドは、「**リスク・パリティ***の観点」からファンド設定時に決定した**基本資産配分比率で、世界の株式、REIT、債券に分散投資を行ないます。**

本レポートでは、当ファンドのルールや運用のポイントなどについて、ご紹介いたします。

* リスク・パリティを概ね実現するために、各資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクについて、ファンド設定時点における過去長期間のデータを基に、日興アセットマネジメントが独自に各資産の組入比率を決定しました。**なお、設定後の各資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクの変化に応じた基本資産配分比率の変更は、原則として行ないません。**

本資料の 内容

- 当ファンドのルール
- 当ファンド設定の背景
- 基本資産配分比率で運用した場合のシミュレーション
- 運用のポイント



当ファンド設定の背景



日興アセットマネジメントでは2021年2月から毎月1回、投信初心者の方を対象としたオンラインセミナー「オトナの七・五・三」を開催してきました。

こうしたセミナーで、積立投資についてお話する中で、**若い人のように長期間の積立をする時間がない**という方や、**ある程度まとまった資金の投資先に迷われているミドル層**の方々が少なくないことに気が付きました。そのような「**おとな**」の投資家には、将来のために前向きにリスクを取り、途中の変動に耐えて最後の大きな結果を期待する長期積立投資とは別の考え方が必要ではないか、との考えに至りました。

そこで日興アセットマネジメントでは、「**リスク・パリティ**」の考え方に着目しました。各資産のリスクの大きさを考慮して定めた基本資産配分比率を維持することで、**リスクを相対的に低く抑え、相対的に緩やかな値動きをめざすスタイル**であれば、**ゆったりと落ち着いたスタンスで投資に臨むことができる**のではないかと。そのような思いから当ファンドを設定しました。

※ファンド設定後は原則、基本資産配分比率を固定します。

当ファンドは

預貯金でコツコツと
築いた「まとまった
お金」を資産運用
に振り向けたい

「期間が限られた
積立投資」を
行ないたい

といった考えをお持ちの「**おとな**」の投資家 にも
活用しやすいバランスファンドであると考えています。

基本資産配分比率で運用した場合のシミュレーション①

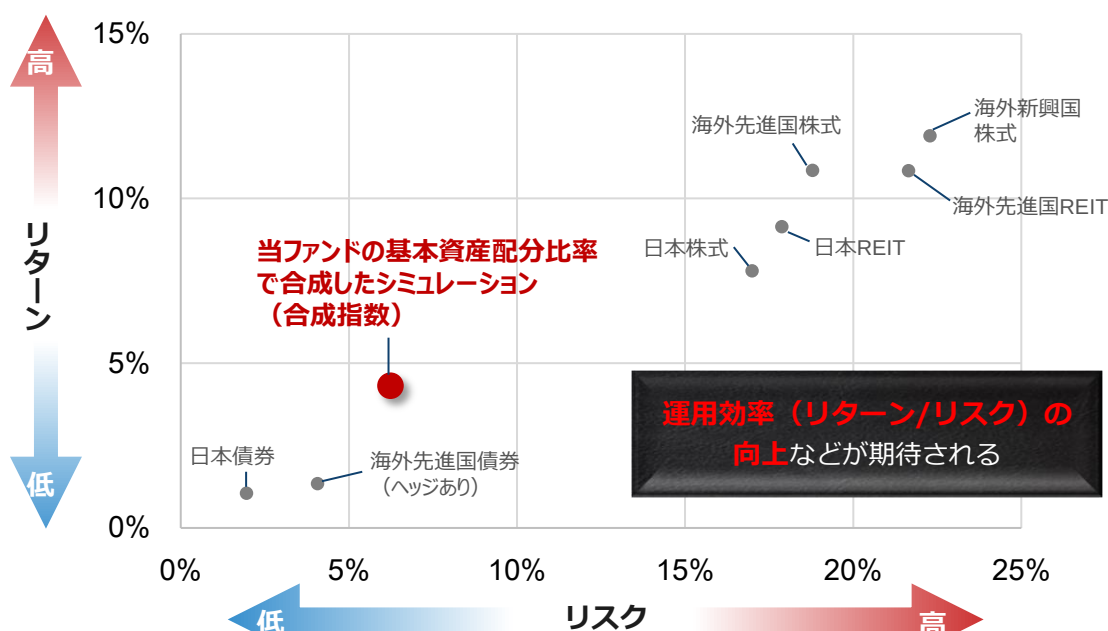


- 当ファンドでは、「リスク・パリティ」の考え方に着目し、ファンド設定時に決定した基本資産配分比率を維持することで、**リスクを相対的に低く抑え、相対的に緩やかな値動きをめざします**。
- これにより、運用効率（リターン/リスク、リスク1単位当たりのリターンの大きさ）の向上などが期待されます。

<各資産とシミュレーションのリスクとリターン（年率）>

（2003年3月末～2022年12月末、月次）

下記グラフはいずれも過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。



<各資産とシミュレーションのリターン/リスク>

（2003年3月末～2022年12月末、月次）

	合成 シミュレーション	海外先進国 債券 (ヘッジあり)	日本債券	海外先進国 株式	日本株式	海外新興国 株式	海外先進国 REIT	日本REIT
リターン/ リスク	0.69	0.33	0.54	0.58	0.46	0.53	0.50	0.51

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

海外先進国債券（ヘッジあり）：FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ヘッジ・円ベース）、日本債券：野村BPI総合インデックス、海外先進国株式：MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）、日本株式：TOPIX（配当込み）、海外新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）を円換算、海外先進国REIT：S&P先進国REITインデックス（除く日本・配当込み・円ベース）、日本REIT：東証REIT指数（配当込み）、当ファンドの基本資産配分比率で合成したシミュレーション：上記の各指数を当ファンドの基本資産配分比率で合成し、月次リバランス

※上記指数およびシミュレーション（合成指数）は、当ファンドのベンチマークではありません。

※リターンは月次リターンの平均、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算

※上記グラフは、当ファンドの各マザーファンドが連動対象とする各指数を、当ファンドの基本資産配分比率で合成（月次リバランス）した場合のシミュレーションであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流出などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。

基本資産配分比率で運用した場合のシミュレーション②

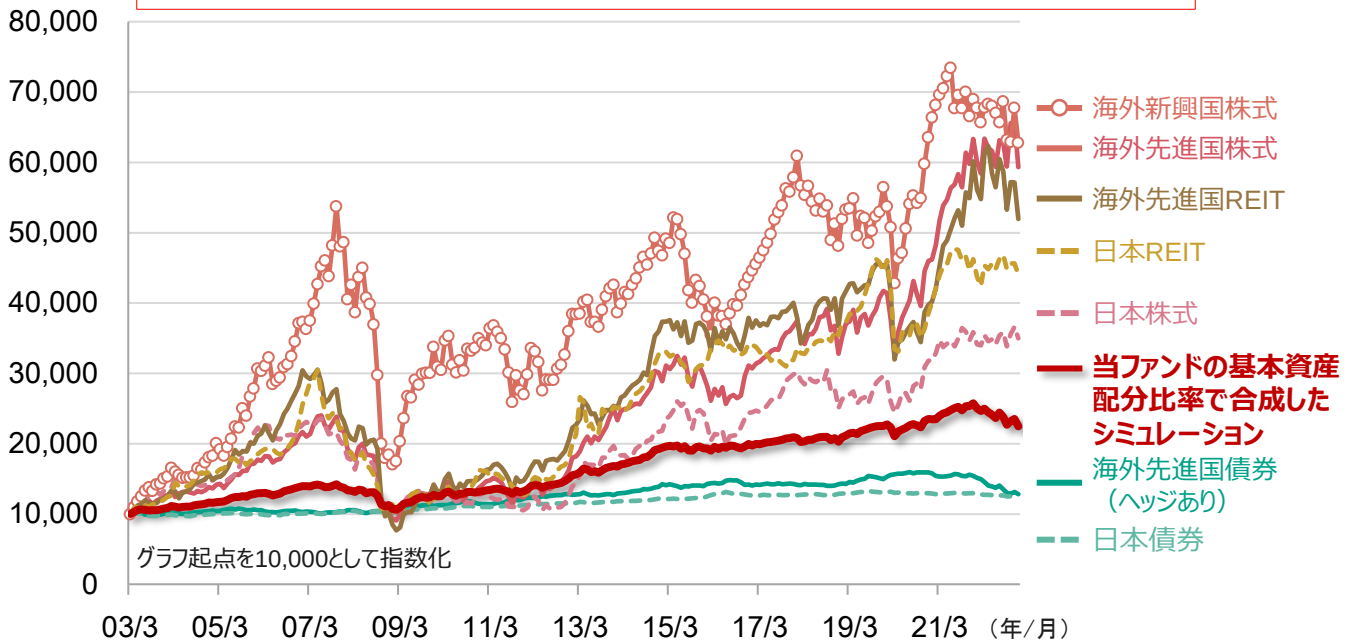


- 中長期の資産運用では「**短期間で大きく負けないこと**」が重要となります。なぜなら、資産が値下がりすると、その回復には下落時よりも大きな上昇の力が必要となるためです。
- 当ファンドは、大きく負けないように基準価額の値動きを抑えることで、投資家が**日々の値動きにハラハラせず、ゆったりと資産形成に取り組むことができる**と考えています。

<各資産とシミュレーションの推移>

(2003年3月末～2022年12月末、月次)

下記グラフはいずれも過去のものおよびシミュレーションの結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。



<シミュレーションの月次騰落率>

(2003年4月～2022年12月)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※使用した指数や計算前提は前ページと同様です。

※上記指数およびシミュレーション（合成指数）は、当ファンドのベンチマークではありません。

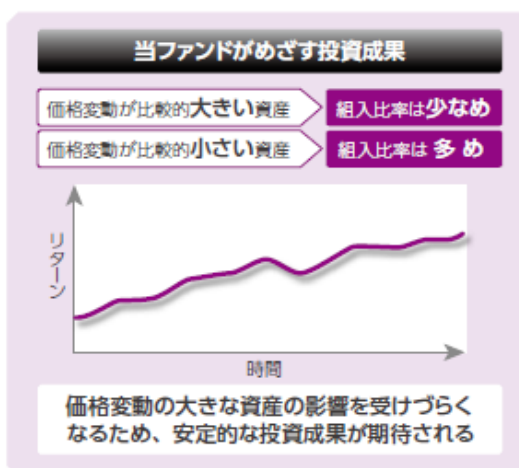
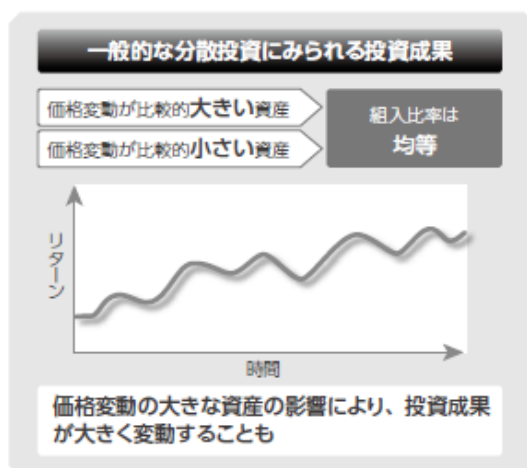
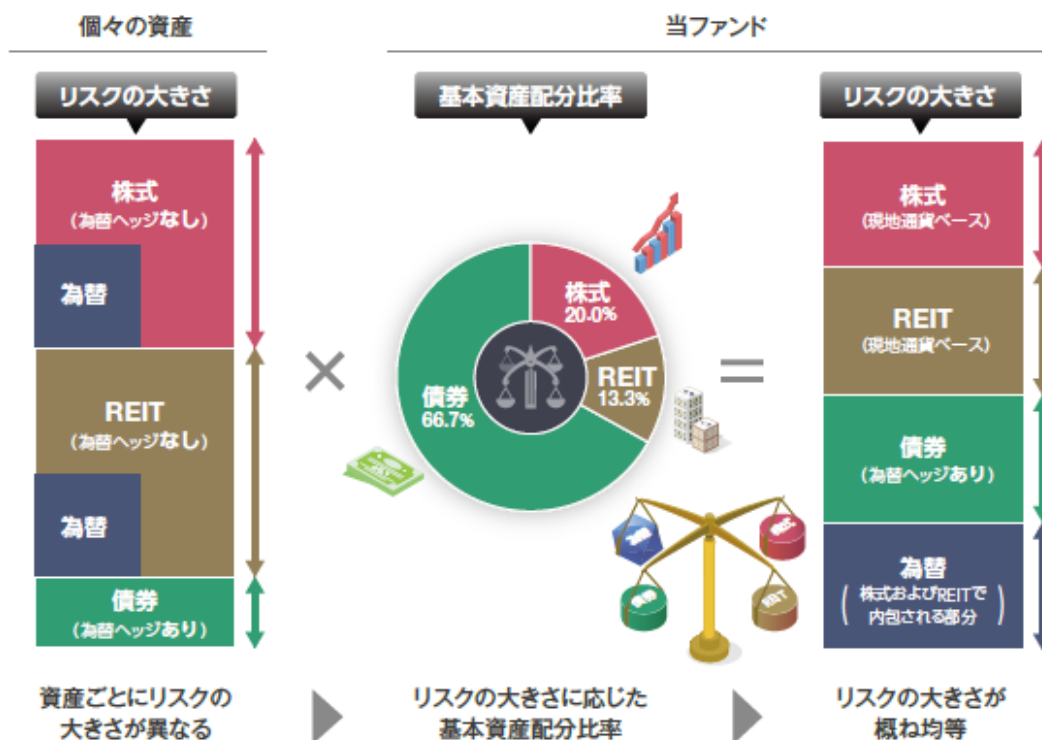
※上記グラフは、当ファンドの各マザーファンドが運動対象とする各指数を、当ファンドの基本資産配分比率で合成（月次リバランス）した場合のシミュレーションであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。当ファンドの運用においては、売買コストや信託報酬、運用資産の規模、設定解約に伴う資金流入などによる影響が生じます。そのため、当ファンドの運用成果が、上記シミュレーションと同様のリターンを達成することを約束するものではありません。当ファンドの実際のパフォーマンスなどについては、開示資料などをご覧ください。

運用のポイント① ～「リスク・パリティの観点」から決定した資産配分～



- 当ファンドでは、値動きが異なる傾向にある3つの資産（株式、REIT、債券）へ分散投資を行ないます。
- さらに、これら3つの資産それぞれの価格変動リスクに加え、各資産が内包する為替変動リスクの総計を4つ目の資産（リスク）と捉え、当ファンドが定める基本資産配分比率で投資を行なうことで、**特定の資産の影響を受けにくい投資成果をめざします。**

<当ファンドにおける資産配分の考え方>



※価格変動などに関する説明は一般論であり、実際はこれと異なる値動きをする場合があります。また、各図はイメージです。
 ※上記は「Tracers グローバル3分法（おとなのバランス）」についてのご理解を深めていただくためのイメージであり、実際の運用成果等を保証するものではありません。

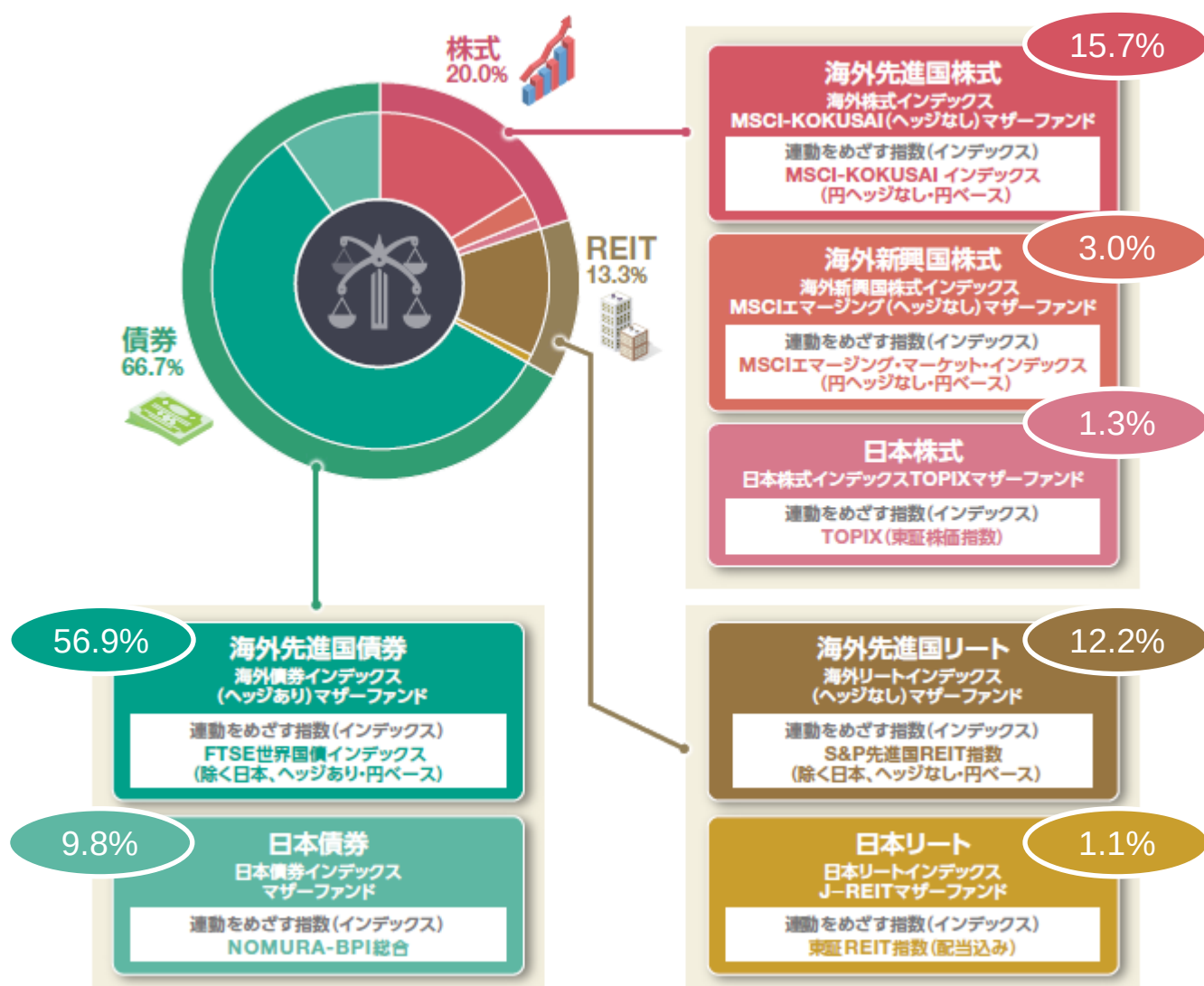
運用のポイント② ～インデックスファンドを活用～



- 各資産への投資にあたってはインデックス・マザーファンドを活用します。
- なお、各資産における地域別配分比率（各マザーファンドの組入比率）は市場規模に応じた配分とします。

<基本資産配分比率および各資産における投資対象ファンドと地域別配分比率>

各投資対象ファンドの枠内数字は、2022年12月末時点の地域別配分比率です。



※株式における日本、海外先進国、海外新興国の配分比率は、それぞれ対象マザーファンドの連動対象指数の時価総額に基づいて算出します。REITにおける日本、海外先進国の配分比率は、それぞれ対象マザーファンドの連動対象指数の時価総額に基づいて算出します。債券における日本、海外先進国の配分比率は、日本を含む「FTSE世界国債インデックス」における日本と海外先進国の時価総額に基づいて算出します。

※各資産のマザーファンドの配分比率は変動します。

※市況動向および資金動向などにより上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色

1 「リスク・パリティ*の観点」からファンド設定時に決定した基本資産配分比率で、世界の株式、REIT、債券に分散投資します。

*リスク・パリティを概ね実現するために、各資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクについて、ファンド設定時点における過去長期間のデータを基に、日興アセットマネジメントが独自に各資産の組入比率を決定しました。なお、設定後の各資産の価格変動リスクおよび為替変動リスクの変化に応じた基本資産配分比率の変更は、原則として行ないません。

2 各資産への投資にあたってはインデックスファンドを活用します。

3 購入時手数料はかかりません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

各指数(インデックス)の著作権などの権利について

●TOPIX（東証株価指数）

同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）に帰属します。また、JPXは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

●MSCI-KOKUSAI インデックス

同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス

同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

●東証REIT指数

同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）に帰属します。また、JPXは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

●S&P先進国REIT指数

同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シー（S&P）社に帰属します。また、S&P社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

●NOMURA-BPI 総合

同指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「NFRC」）が公表している指数で、その知的財産権はNFRCに帰属します。なお、NFRCは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス

同指数は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



とは…

「こんなの欲しかった」というアイデアを
 ファンドの設計に取り入れ、
 「インデックス（指数）」や「独自に定めたルール」などの
ルールに沿って運用（トレース）する、
 日興アセットマネジメントのファンドシリーズです。



お申込みの際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式、不動産投信および債券を実質的な投資対象としますので、株式、不動産投信および債券の価格の下落や、株式、不動産投信および債券の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「Tracers グローバル3分法（おとなのバランス）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2023年2月10日設定）
決算日	毎年2月7日（休業日の場合は翌営業日）
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.1089%(税抜0.099%) ※この他に、実質的に不動産投信に投資する場合には、運用などに係る費用がかかりますが、投資する銘柄は固定されていないため、事前に料率、上限額などを表示することができません。
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)